

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会

第1回認知症対策部会 会議録

| | |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 平成29年5月27日(土) 午後3時05分～午後4時30分 |
| 開催場所 | 生駒市コミュニティセンター203・204 会議室 |
| 出席者 (委員) | 山上部会長、川田委員、徐委員、茨木委員、喜多委員、湯川委員、吉村委員 |
| 欠席者 | 中溝副部会長、今西委員 |
| 事務局 | 影林福祉健康部長、田中地域包括ケア推進課長、知浦地域包括ケア推進課課長補佐、 渋谷地域包括ケア推進課係長、高瀬地域包括ケア推進課係員 生駒市医師会事務局 畑氏 |
| 傍聴 | なし |
| 案件 | (1) 認知症対策部会平成29年度スケジュールについて (2) 認知症ケアパス(専門職用)について (3) 認知症に関する研修等企画について ①多職種連携研修 ②認知症フォーラム |
| 資料 | (資料1) 認知症対策部会の設置及び運営に関する規程・認知症対策部会員名簿 (資料2) 認知症対策部会平成29年度スケジュール(案) (資料3) 堺市認知症ケアパス(支援者用) (資料4) 認知症に関する多職種連携研修会開催結果 (資料5) 認知症対策部会平成28年度活動報告書 |
| 議 事 の 経 過 | |
| 発言者 | 発言内容 |
| 事務局 | 1 開会 ・平成29年4月1日付け人事異動に伴い、奈良県郡山保健所及び市推薦の委員の変更の報告(資料1)。 ・平成29年4月1日付け機構改革に伴い、事務局担当課名に変更があった旨及び運営規程の該当部分を改正した旨報告(資料1)。 |
| 事務局 | 2 案件 (1) 認知症対策部会平成29年度スケジュールについて (資料2に基づき説明) ・今年度も4回の開催を予定。 ・前回ご意見いただいた内容とほぼ同じ。 ・第1回が土曜日の開催となったため、地域包括支援センター職員との意見交換を第2回目に変更とさせていただいた。 |

| | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p>(2) 認知症ケアパス（専門職用）について （資料3に基づき説明）</p> |
| 部会長 | <p>堺市が専門職用を作成しているため、参考として示していただいた。各職種において「こんなものが記載されていれば」というような項目があれば教えていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>認知症安心ガイド自体、スタッフも関心はあるが、まだまだ皆に知れ渡っていないように思う。自分たちとしては、なかなか医療につながらないことが多いと感じている。ケアマネジャーが何度も説得して病院につながるが、行ってすぐに良くなるわけではない。状態を見ながら起こってくることに対処している状態。 ガイドができたからといって認知症の人で訪問看護を利用する人が増えた、という印象はまだない。 講演会等については、昨年度色々していただいてありがたかった。関心は増えていると思う。ただ、家族もまだ知られたくないという方が多いのかもしれない。</p> |
| 部会長 | <p>安心ガイドは広報と一緒に配布するほどの量はないか。</p> |
| 事務局 | <p>昨年度は3000部印刷した。課名が変更された関係もあり、関係各所にまだしっかり配布できていない。これからしっかり配布していきたい。ホームページには掲載済み。</p> |
| 委員 | <p>チェックシートのチラシも配布されるか。患者に手渡すのに非常に便利だと思う。</p> |
| 事務局 | <p>チェックシートも配布予定。</p> |
| 委員 | <p>ケアマネジャーとしては、どこに相談に行けば良いのか、何につながれば良いか等をよく調べるので、私たち自身にとって非常に見やすく、活用できるものと考えている。生駒市は縦に長く、地域によって全然高齢化率も違うし受入れも違う。訪問看護では認知症の人が増えた印象はないが、小規模多機能については認知症が増えている。 ケアマネジャーの立場としては、「あなたは認知症」と言い切ることもできない。認知症状が出ている方へのアプローチ・介入がすごく難しい。訪問看護等が入るとうまく受診につながることが多い。専門の方が押してくれれば受診につながるかと思うが、押してくれる人を探すのに苦労している。初期集中等がもっと知れ渡ればと思う。</p> |
| 部会長 | <p>ケアマネジャーをする上では、ガイドが役立っているのですね。</p> |
| 委員 | <p>はい。自分で活用している。</p> |
| 部会長 | <p>専門的なことを追加するとなるとはいかがですか。</p> |

| | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | ケアマネジャーとしては、これでも十分。これも一般向けとはいいいながら、認知症の診断を受けている方になら良いと思うが、とっかかりとしてこれをいきなり渡すのは難しい。これ自体が詳しく記載されているので。 |
| 委員 | すごい冊子ができたと見せていただいた。私たちのところには、精神疾患を持っている方の家族から相談が入ることが多い。ちょっとややこしい人を医療につなげるのはかなり苦勞している。認知症の方のご家族であっても同じだと思う。初期の人を医療につなげる取組もしていただいているが、そこをもっと広げていけるようなものが良いのかと思う。 |
| 部会長 | 行政としては専門職用ケアパスに追加する項目、といった面での意見は難しいですね。 |
| 委員 | 医療につなげる部分に特化したものがあれば皆に活用していただけるかと思う。治療に結びつけるようなノウハウのようなもの。 |
| 委員 | 薬剤師としては今回できたものがレベルの高いものであると考えている。薬自体のことについては各薬剤師も勉強しており内容もわかっていると思う。実際患者と話したとき、ガイドに記載されているようなことを聞かれることが多い。これで網羅できていると思う。 |
| 部会長 | もっと詳しくしたようなものはいかがですか。 |
| 委員 | 詳しくするとしても、新たにというよりは、ここにプラスアルファとして増やすのが良いかと思う。 |
| 委員 | <p>どうやって医療につなげるか、という話が多いが、医療機関としては、既につながっている人が相手。このガイドを参考に、と見せると「私は認知症ですか」「確定ですか」と聞かれることがある。見せるタイミングが難しい。</p> <p>家族がいる人の場合は家族にお渡しできる。サービスがこんなに載っているのに、表紙に大きく「認知症安心ガイド」と書かれているため、見せにくいという面がある。</p> <p>せっかくリハビリ・診察の予約を取っても、忘れて来られない。やっと来たら認知症が進んでいるという人も多い。せっかく病院に来ているのに、どうサービスにつなげるかが難しい。認知症の夫婦の場合、「2人いれば助け合って何とかなる」などと言われるとなかなかこれも渡しにくい。</p> <p>専門職としては、これ自体職員同士で活用している。「患者さんには渡しにくいね」という意見もある。初期の方の場合、怒り出す人もいる。</p> |
| 部会長 | 家族がいれば渡せますけどね。 |
| 委員 | <p>認知症とあまり関わらない医者にとっても分かるような内容は必要だと思う。認知症の類型については、この4つにきれいにわかれることは少ないですよ。どこに行くか、ということがはっきりしているのが良い。</p> <p>生駒市ではサポート医は具体的に動いているか。</p> |
| 部会長 | 私を含め3人。本来なら初期集中にも協力すべきと考えているが、なかなかで |

| | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | きていないのが現状。 |
| 委員 | かかりつけ医が把握されるのが一番良い。 |
| 部会長 | 先日やまと精神医療センターの先生の講演を聞いた。重症の方をずっと専門でない医者が見るのは難しいと思う。クリニカルパスのようなものを作って、専門の先生とかかりつけ医でやり取りするのが大事だと思う。 抗精神薬のさじ加減などは専門医でないと難しいと思う。 |
| 委員 | 通常の認知症の薬であれば何種類かではあるが。 |
| 事務局 | 認知症ケアパスの作成後、次に連携パスを作っているところがある。ケアパスの専門職用というのは探したが、あまり見つけることができなかった。 |
| 委員 | 連携パスをお薬手帳のように持ってもらえればありがたい。お薬手帳の中に記載されているとか。「認知症」とはっきり書かれていると持ってもらいにいくかもしれない。 |
| 事務局 | 皆さんが言われるとおり、この「認知症安心ガイド」を当事者に持ってもらうのはなかなか難しい。初期の人は抵抗するし、中度以上になるとこれ自体を理解できない。民生委員児童委員や自治会長など地域の方に理解していただき、活用していただく方法が1つ。あとはケアマネジャーや事業所に流れや症状に応じたつなぎ先を意識してもらうのに活用できる。家族がしっかりされている場合には家族に読み込んでいただくことで見通しが持てると思う。他には元気な間に予備知識として知っておいてもらう、など。 |
| 委員 | 元気なうちなら逆に見せやすい。もしかしたら、の際につながる可能性が広がる。 |
| 事務局 | 専門職用というよりも認知症が疑われる人がなかなか医療につながらない。 最近初期集中で関わったケースで、夫婦ともに認知症、というケースがある。ぎりぎり支え合っていたが、色々不具合が出て近所から地域包括支援センターに相談があり関わったが、専門職が複数で行ってもなかなか説得できない。訪ねるごとに名刺を置き続けた。不定期に訪ねる親族がいて、その名刺を見て認知症地域支援推進員につながった。その結果、専門機関に親族が連れて行くことができた、というケースがあった。 委員の皆さんのご意見を聞いて、このような事例を積み上げたものを冊子として、こんな方法あるよ、という紹介するようなものの方が現場で活用していただける可能性があるのかな、と感じた。 |
| 委員 | 専門職用の認知症の本には4つの症状については必ず載っている。専門職が勉強するとなるとまずはそこからだと思う。 ケアマネジャーとしたら、それほど詳細な知識は必要ない。それよりも対応につながるような、ヒントがもらえる何かが欲しい。 |
| 事務局 | 認知症の進行に家族がついていけない。初期の人をどうやって医療につなげていくか、というノウハウが積まれたもの、進行していく本人をどう家族が支えていくかをアシストできるような事例集の方が現場の方には良いのかもしれない。 |

| | |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | つなぎたいけどどこにつなげれば良いか分からない、といった医療機関の方々の支援の悩みにも対応できるようなものがあれば良いのかな、と感じた。 |
| 部会長 | たしかに病気についての説明を色々書いてもあまり意味がないかもしれない。 |
| 委員 | どういう症状が出てきたら精神科に相談するか、そういうことがポイント。 |
| 部会長 | なおかつ、どうやって連れて行くか、といったことが載っていればありがたい。 |
| 委員 | Q&A のような。 |
| 部会長 | どうしていくか、方向変更も含めて改めて事務局でも検討してください。 |
| | (3) 認知症に関する研修等企画について |
| 事務局 | ①多職種連携研修・②認知症フォーラム (資料4に基づき説明) |
| 部会長 | 昨年度の多職種連携研修、私も参加しましたが、概ね好評ということで、今年度も開催していきたいと思います。研修のテーマとなるような、日頃こういうことで困っている、というようなご意見はありますか。 |
| 委員 | 何度か成年後見制度について聞いているが、なかなか難しい。 |
| 部会長 | ご家族がいても成年後見人つけるケースはある？ |
| 事務局 | 家族不和があるような場合は、他の家族から利益誘導していると疑われたりするケースもあるので。 |
| 委員 | 成年後見人をつける相談があった場合、市で推薦する？ |
| 事務局 | 弁護士会等の機関の情報提供はするが、人までは紹介しない。 |
| 部会長 | 研修は1回。講演も別で開催しますか。 |
| 事務局 | 若年性認知症の発症が生駒でも出てきている。啓発が必要と感じている。 今年4月、国際アルツハイマー病協会の国際会議でのオープニングで話をされた丹野智文さんから、奈良で講演をしたいとお話をいただいている。部会の皆様からもご意見いただき、ぜひ開催したいと考えている。併せて当事者の方によるミーティング・ディスカッションのようなものも開催できればと考えている。 |
| 委員 | 当事者に話していただけるというのは非常にありがたい。 |
| 事務局 | 6月8日も若年性認知症の当事者さんが「認知症支え隊」養成講座で話をいただけることが決まっている。もし部会の皆さままでお時間作っていただけたら、ぜひ聞いていただきたい。 |

| | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部会長 | 講演会については、この方向で企画していくということでお願いします。研修のテーマは成年後見ということによろしいか。 |
| 事務局 | 成年後見は権利擁護という部類に入る。部会主催の研修としては、成年後見制度が必要なケースについて、どの時点でどういうところにつなぎをすれば良いかといった事例検討をしながら、併せて成年後見制度についての説明というような感じでいかがでしょうか。多職種をどうケアしていくか、というような検討ができればと思う。 |
| 部会長 | <p>その方向で検討を進めます。</p> <p>(4) その他</p> <p>①認知症対策部会平成 28 年度活動報告</p> <p>②認知症地域支援推進員の増員</p> <p>③認知症簡易判定スクリーニング機器</p> <p>④認知症支え隊養成講座</p> <p>⑤認知症に関する市民意識調査</p> <p>⑥改正道路交通法の円滑な施行に向けた各都道府県警察及び関係団体等との連携について</p> |